

メールマガジン埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.296 2020.1.17

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」 1月1日(水曜日)放送「新春インタビュー」 (主要会派代表者)

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様相など県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、前号に引き続き1月1日(水曜日)に放送した「新春インタビュー」(主要会派代表者)の内容をお伝えします。



[☆放送スケジュールなどは、県議会のホームページからご覧いただけます。≫](#)

INDEX



県議会広報


〈こんにちは県議会です「新春インタビュー」〉

- ・埼玉県議会自由民主党議員団 小島信昭団長
- ・無所属県民会議 岡 重夫代表
- ・埼玉民主フォーラム 田並尚明代表
- ・埼玉県議会公明党議員団 西山淳次団長
- ・日本共産党埼玉県議会議員団 柳下礼子団長



議事堂の花

生け花のご紹介

 県議会広報

【こんにちは県議会です「新春インタビュー」】

◆埼玉県議会自由民主党議員団 小島信昭団長◆

団長 新年あけましておめでとうございます。埼玉県議会自由民主党議員団団長の小島信昭です。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



— 昨年のご感想をお聞かせください。 —

団長 昨年は令和という新しい時代がスタートし、本県も会場となったラグビーワールドカップの大成功、また、深谷市出身の実業家・渋沢栄一翁が新一万円札の顔に選ばれ、さらには来年のNHK大河ドラマの主人公に決まるなど、明るい話題の多い年でありました。一方で、台風19号により本県でも甚大な被害が発生してしまいました。私たち自由民主党議員団は、県議会の最大会派として、新しい時代の埼玉が希望と活力あふれるものとなるよう、県政をリードする決意を新たに全力で取り組んでまいりました。

— 会派として、どのようなことに力を入れて取り組まれたのでしょうか。 —

団長 経済の活性化に向けた取り組みに、引き続き力を入れてまいりました。わが党が提案した「超スマート社会」の実現に向けたプロジェクトが大きく夢のある成果に向かって動き出し、AIやIoTなど先端技術の活用を促進するためのさまざまな支援が展開されるようになりました。

また、豚の伝染病であるCSFの発生や台風被害への対策などの大きな課題に対しては、私たちは直ちに現地の状況を把握し、必要な対策を早急に行うよう知事に強く求めるとともに、国に直接要望してまいりました。

— 会派としてさまざまな提案や要望をされているのですね。 —

団長 私たちは常に県民の皆さまのために何が必要かを真摯(しんし)に突き詰めて議論し、要望するとともに積極的な政策提言にも取り組んでおります。さらに昨年は、巧妙化する特殊詐欺から県民の財産を守るため、「埼玉県特殊詐欺撲滅条例」をわが党が提案し、他会派の賛同も得て可決・成立いたしました。

— 今年の抱負をお聞かせください。 —

団長 急速に進展する少子高齢化や人口減少といったかつてない社会構造の変化が顕在化する中で、生活利便性を向上させる「超スマート社会」への変革をいかに進めていくのか。また、地震や豪雨などに対し、県民の

安心・安全をいかに確保していくのか。その大きな責任を果たす使命があると考えております。私たち自由民主党議員団は、これからも県民の皆さまの声に真摯(しんし)に耳を傾け、埼玉の発展と災害に強く住みやすいまちづくりに全力で取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。

[▲トップへ](#)

◆無所属県民会議 岡 重夫代表◆

代表 皆さま、新年あけましておめでとうございます。無所属県民会議の岡重夫です。今年も県民の皆さまが安心して生活できるような埼玉県をつくるため、しっかりと取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



—昨年を振り返っての感想をお聞かせください。—

代表 昨年は元号が平成から令和に変わり、新しい時代が幕を開け、ラグビーワールドカップが本県でも開催されるといううれしい出来事がありました。日本中でラグビー熱が高まり、日本チームの応援だけでなく、ほかの出場国の国歌を歌い応援するなどといった日本のおもてなしが世界に高く評価されました。観戦した子どもたちにも「One for all, All for one」のラグビーの精神が伝わったのではないかと思います。

一方で、豚コレラの発生や、大型台風が県内各地に大きな被害をもたらしました。改めて被害に遭われた皆さまに心からお見舞い申し上げます。私たちは、発生直後に会派内に対策本部を設置し、現地の被害状況などの収集のほか、大野知事への緊急要望を行うなど、一日も早い復旧に向けて努力してまいりました。

—今年はどうのようなことに取り組まれていこうとお考えですか。—

代表 今年之最優先課題は、昨年の台風で被災された方々の支援です。特に農業や商工業で被害を受けられた方の救済が急がれます。また、今年には本県も会場となる東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。本県を訪れるすべての方々に埼玉の魅力やおもてなしの心を感じていただけるよう、努力してまいります。

—ほかに力を入れていきたいことはありますか。—

代表 1点目は児童虐待防止に向けた取り組み、2点目は待機児童解消に向けた取り組み、3点目は2025年問題への取り組み、4点目は大震災や猛暑から県民の命を守る取り組み、そして5点目はメガソーラー一廃棄物処理

技術の確立。以上の5項目については、引き続き重点施策として取り組んでまいります。

[▲トップへ](#)

◆埼玉民主フォーラム 田並尚明代表◆

代表 県民の皆さま、あけましておめでとうございます。埼玉民主フォーラム代表の田並尚明でございます。皆さまにおかれましては、健やかに素晴らしい新年をお迎えのことと存じます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



—昨年を振り返っての感想をお聞かせください。—

代表 昨年は三つのことが思い返されます。一つ目は、4月の統一地方選、8月の知事選挙など選挙が重なり、選挙の年だったことです。わが会派は9人から12人に増え、立憲、国民、市民ネットワークの仲間で、新会派・埼玉民主フォーラムとしてスタートを切りました。そして、知事選において大野新知事が誕生したことは大きな出来事でした。

二つ目は、豚コレラ問題と台風による甚大な被害という、近年経験したことがない事態が発生したことです。被害に遭われた皆さまにお見舞い申し上げます。

われわれはいち早く対策を求める要望書を知事に提出し、大野知事も早急に関係官庁に働き掛けるなど、迅速に対応してくださいました。また、不眠不休で対応に当たった職員や関係者の皆さまにも感謝を申し上げます。ただ、台風時の避難所・避難指示などいくつかの課題も見えてきましたので、今後の防災対策に必ず生かしていきたいと思っております。

三つ目は、ラグビーワールドカップの開催です。地元の皆さまや、神対応と評価を受けたたくさんのボランティアの皆さまをはじめとするすべての関係者のおかげで、大成功を収めました。本年はトップリーグの試合が12試合、熊谷ラグビー場で予定されております。ラグビーをさらに盛り上げ、埼玉の魅力発信につなげていければと考えております。

—年頭に当たっての抱負をお聞かせください。—

代表 今年は東京オリンピック・パラリンピック、そして来年は渋沢栄一翁が主人公の大河ドラマが放送されるなど、埼玉県のさらなる飛躍のチャンスです。われわれ会派、ワンチームでしっかりスクラムを組み、さまざまな課題に対して、挑戦する心を持って取り組んでいきます。県民第一、そして県民の皆さまの思い、一議席の重さを忘れずに、慢心することなく仕事に全力を尽くしてまいります。

[▲トップへ](#)

◆埼玉県議会公明党議員団 西山淳次団長◆

団長 皆さん、あけましておめでとうございます。埼玉県議会公明党議員団団長の西山淳次です。本年も何とぞよろしく願いいたします。



—昨年を振り返っての感想をお聞かせください。—

団長 4月の県議選で議会も新たな陣容となり、夏には大野新知事が就任しました。令和という新時代に符合して、埼玉県政も新たな区切りを迎えた年でした。一方で台風災害や豚コレラ発生など、災害への対応や危機管理が問われた年でもありました。

—今年の台風19号では各地で大きな被害が出ました。—

団長 これまで埼玉県は比較的災害が少ないと言われてきましたが、昨年10月の台風19号では県内の複数箇所では堤防が決壊、住宅被害は6,000棟を超えました。かねてわが党は「防災・減災を政治の主流に」と主張してまいりましたが、いよいよその感を強くしています。首都直下地震への対応策も含めて、防災・減災対策にしっかり取り組んでまいります。

—ほかにはどのようなことに力を入れていけますか。—

団長 やはりまずは、少子超高齢化への対応を挙げなくてはなりません。増大する介護や医療の需要に対応できるだけの人材確保や体制整備は最重要課題です。これまでもこの分野でわが党は県政をリードしてきたと自負していますが、引き続き全力を注いでまいります。

2点目としては、環境問題、特にプラスチックごみの削減を掲げたいと思います。SDGsの大きな柱でもある環境保護が再び政治の重要課題になってきていると思います。

3点目は教育です。教員の負担軽減、地域に開かれたコミュニティ・スクールの推進、読書教育の充実などに取り組んでまいります。

—今年の抱負をお聞かせください。—

団長 公明党の9人が団結し、あくまで県民目線に立って、どれだけ県民に奉仕できるかに挑戦していく決意です。

[▲トップへ](#)**◆日本共産党埼玉県議会議員団 柳下礼子団長◆**

団長 皆さん、あけましておめでとうございます。日本共産党埼玉県議会議員団の団長の柳下礼子です。今年も力を合わせて、皆さんの願いが実現する年にしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



—昨年を振り返っての感想をお聞かせください。—

団長 9月には現在CSFと呼ばれている豚コレラが初めて県内で発生し、10月には台風19号が重大な被害をもたらしました。

CSFについては、農業団体の方などと連携して農家への支援を求め、ワクチン接種が実現しました。

一方、台風被害については、災害救助法を早期に適用するよう、台風上陸前日に県に緊急要望しました。その後の被害を受けて、県は川越市など40市町村に災害救助法の適用を決定しましたが、被害を受けた住宅が複数あるにもかかわらず、災害救助法が適用されない市がありました。これについて適用自治体を拡大するよう副知事に求めたところ、新たに8市に災害救助法の適用が発表されたのです。今後も、被災者に寄り添った早期の復旧・復興を目指して力を尽くしてまいります。

—今年の抱負と決意をお聞かせください。—

団長 政府は「消費税増税は社会保障のため」と言いながら、社会保障の改悪を続けています。格差を正し、暮らし・家計応援第一の政治を実現したいと思います。具体的には、子ども医療費助成制度の対象年齢の拡大や学校給食費の無償化などを実現していきたいです。

党県議団は皆さんと力を合わせて県民の生活を支える県政、憲法が暮らしに生かされる県政の実現に全力を尽くす決意です。どうぞよろしくお願いいたします。

[▲トップへ](#)**議事堂の花**

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。
【協力 埼玉県いけばな連合会】



◆展示期間
12月23日
～12月27日
◆作者
相阿弥流
佐々木幸園
様
◆花材
アカメヤナ
ギ、シャリン
バイ



◆展示期間
1月6日
～1月10日
◆作者
草月流
小林幽霞様
◆花材
ボケ、ワカマ
ツ、カサブラン
カリリー、グロ
リオサ、セン
リョウ

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈相阿弥流 佐々木幸園様〉

Q: アカメヤナギの品のある曲線が生け花の古典の形を作り上げていますね。

A: 古典のお花は伝統的に形が決まっています。真ん中に芯の通った枝、それに添うように伸びる枝、そして反対側に短く伸びる枝。しばしば男性とそれに寄り添う妻と子のようにも表現されます。使っている枝もそのイメージのように、しっかりと赤く色づいた枝を中央に、まだ緑がかった枝を添えるように挿していきます。

Q: アカメヤナギの落ち着いた赤い色味も含め、全体の色合いが趣ある雰囲気ですね。

A: 古典の花の心は風情にあります。色使いもですが、今回用いたシャリンバイの葉の染みや木(ぼく)の雰囲気も風情のある作品を演出しています。使う花材は毎回さまざまなので少しずつ風情の表現にも変化が出

できます。そういったところも古典の花のポイントです。



〈草月流 小林幽霞様〉

Q: 作品に込めたイメージを教えてください。

A: ぽつりぽつりと花をつけるボケの細い枝を生かし、空間を意識して生けました。枝と枝の間(ま)が作品を包むモダンな空気感を演出しています。カサブランカリリーやグロリオサといった洋花と、和花のワカマツ、センリョウとを調和させ、日本のお正月の華やかな雰囲気を実代的に表現しました。

Q: 大輪のカサブランカリリーが目を引きますね。

A: 生き生きとした花からは元気をもらえます。私にとって生け花は花との対話です。花と向き合い、良い表情を引き出せるよう心掛けています。年の初めにこの作品を見て皆さんに元気になってもらえたら幸いです。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから](#)》

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、
変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちら
まで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257 / FAX 048-830-4923

© 2008 Saitama Prefecture All Rights Reserved. 無断転載を禁じます。

